



嫌われているけど、実は…

探勝路内を歩いていると、土の上などを歩いている、長い脚を持ったクモのような生きもの、「ザトウムシ」をよくみかけます。クモに似ていますが、サソリに近縁で、クモとは頭と腹に分かれていないところなどで見分けることができます。とくに毒などは持っていませんが、見た目から嫌いという人が多い生き物です。

そんな嫌われがちなザトウムシですが、自然界では大切な役割があります。それはザトウムシが食べているものに関係しています。ザトウムシが食べているものは、小型の昆虫やミミズ、それらの死骸などです。重要なのは死骸を食べるということです。死骸を食べ、フンとして排出すると、もとの形より小さく細くなります。それを今度は微生物や菌類が分解し、植物の成長には欠かせない養分として土に戻します。このようにザトウムシには、死骸が養分として土に戻る流れを、スムーズに進行させるための大事な役割があるのです。

ザトウムシ以外にも、見た目嫌いと思ってしまう生き物がいるかもしれません。しかし、嫌い、苦手と思っているものも、よく観察してよく調べてみると、おもしろい、新しい発見があるかもしれませんよ。



▲ザトウムシの1種



▲エサをくわえている様子



ようこそビジターセンターへ

「ぬりえコーナー」がおすすめ！

今年の夏休みプログラムで大好評だった「ぬりえコーナー」を常設します。子どもから大人まで、誰でも簡単に楽しめるコーナーで、オリジナルの「ぬりえ」を体験することができます。

「ツキノワグマの子」「アマゴイルリトンボ」「ミドリシジミのオス・メス」「モリアオガエル」「キビタキ」など、裏磐梯のいきものの「ぬりえ」ですが、これから秋に向けて、植物の「ぬりえ」も追加予定です。

誰でも無料で楽しむことができますのでご利用ください。また、500円で自分だけの「オリジナル缶バッジ」にすることもできます。詳しくはスタッフまでお問い合わせください。



▲ぬりえコーナー



▲「ぬりえ」の仲間たち



▲オリジナル缶バッジ